目　次

巻頭言　法教育の推進状況を眺めながら

田中 成明　1

第１編　特別寄稿

法を学ぶこと・教えること
——〈教育的再構成〉の視点から

吉田 俊弘　5

第２編　論　考

〔研究論文〕

法曹プロフェッショナリズム教育と法教育をめぐる現代的課題
——イギリスの動向に注目して

種村 文孝　17

宗教に関する法教育授業構成研究
——寄付の不当な勧誘への消費者保護法制の効果と課題から

中平 一義　27

法学部教育における大学間の差異と差異に関連する要因
——憲法・民法・刑法に関する科目設定の視点から

坂巻 文彩　39

〔研究ノート〕

高等学校における憲法に関する望ましい授業を実現するための条件は何か
——学校教師に対する社会調査に基づいた実証的な検討

小山　治　51

第 3 編　大会記録

〔基調講演〕

「手続の価値」と法教育　――民事訴訟法教育者の視点から
川嶋 四郎　61

〔パネルディスカッション〕　73

紛争解決のための手続の役割

パネリスト：今村 信哉，鈴木　恵，小貫　篤，莚井 順子

コメンテーター：額田 みさ子，長島 光一

司　　会：吉村 功太郎，佐藤 有紗

第 4 編　学会通信

書評・図書紹介　91

法と教育学会規約　96

「法と教育」編集規程　98

「法と教育」投稿規程　98

「法と教育」執筆要領　99

※第 3 編におけるパネリスト等の所属・肩書は 2023 年 9 月時点のもの

その他の本誌における執筆者の所属・肩書は 2024 年 3 月時点のもの